

## 第5章 都市構造上の課題分析

### (1) 人口分布に関する課題

#### ア. 人口分布における将来見通し

用途地域と人口増減を重ねると、用途地域外の八幡、久保田町、高木町、滝の宮町、東田、萩生の周辺で人口が増加する見込みであるのに対し、用途地域内の多くで人口が減少する見込です。

特に多喜浜駅周辺や南小松原町、若水町、松原町の周辺は人口減少が大きい見通しです。

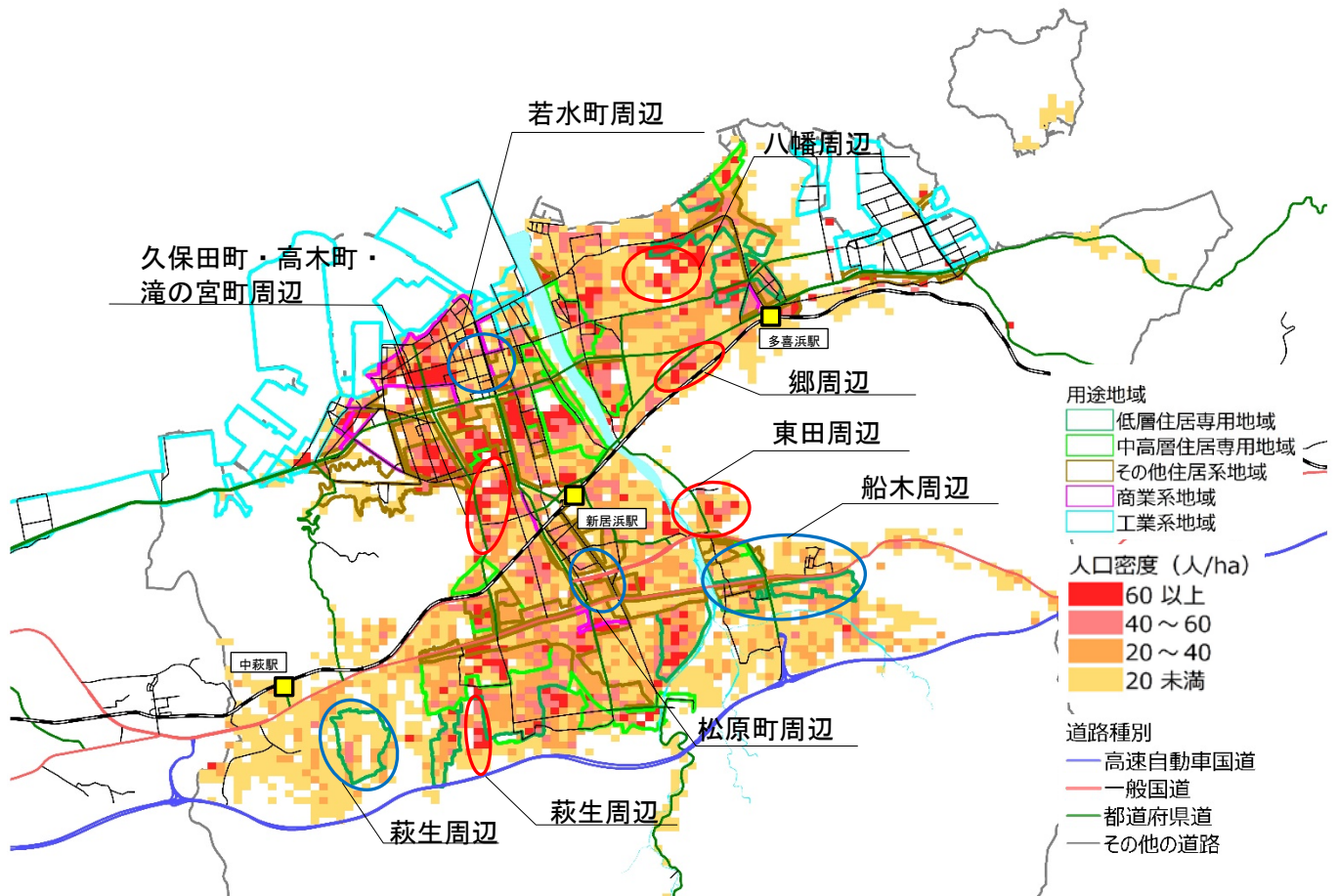
図表 用途地域と人口増減(平成22年→平成47年)



用途地域と平成 47 年人口密度を重ねると、用途地域外の八幡、久保田町、高木町、滝の宮町、東田、萩生の周辺で 40 人/ha 以上になるのに対し、用途地域内の多くで 40 人/ha 未満となる見込です。

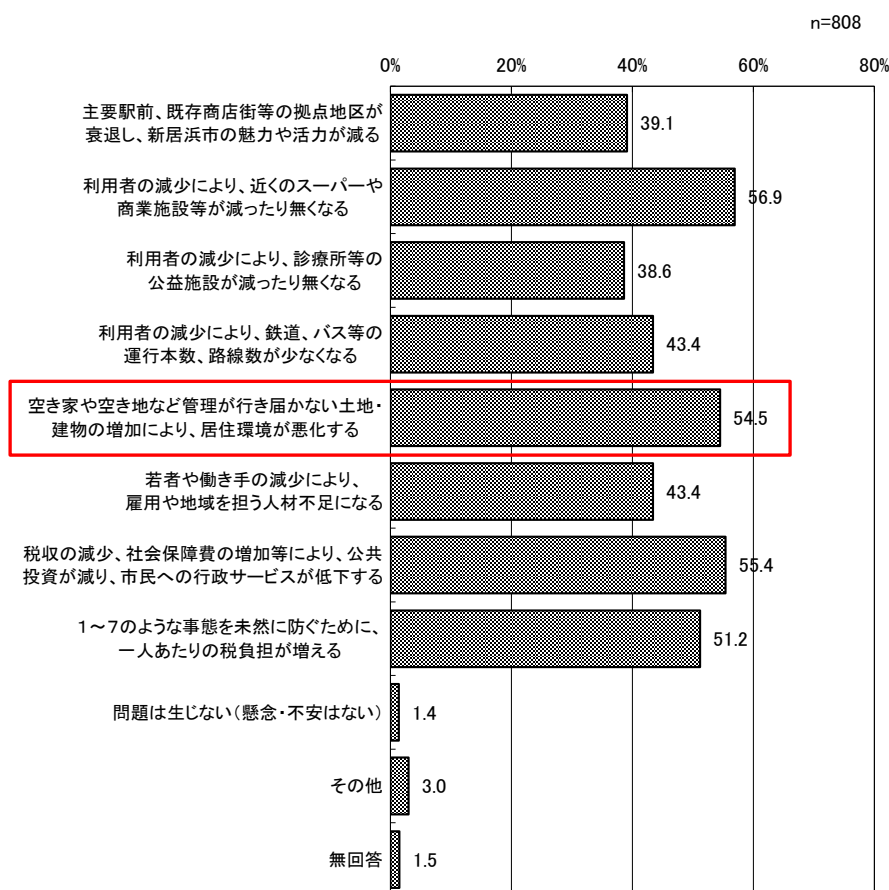
特に市中心部の若水町周辺や、地域拠点として位置付けられる松原町周辺、郊外部の船木周辺や萩生周辺の用途地域で人口密度が低くなる見通しです。

図表 用途地域と人口密度(平成 47 年)



市民意向調査では、人口減少・超高齢社会の進行により、予想される可能性がある影響に関して、懸念・不安に感じることとして、「空き家や空き地など管理が行き届かない土地・建物の増加により、居住環境が悪化する」と回答した人が54.5%と半数以上います。

図表 人口減少・超高齢社会の進行により、予想される可能性がある影響に関して、懸念・不安に感じること



資料:新居浜市立地適正化計画策定に係る市民意向調査 報告書(平成 29 年 2 月)

## イ. 人口分布における課題

### 〔現状〕

- 本市においては、総人口が平成 47 年には約 10.0 万人となり、平成 27 年の約 8 割に減少し、高齢化率は 34% を越える見込みです。
- 世帯数は増加傾向にあり核家族化が進んでいると考えられ、今後もその傾向が続く見込みです。
- 市街地中心部である庄内町や久保田町、泉宮町の周辺で人口増加が見込まれ、高齢者人口も多くなる見込みです。
- 線引き廃止以降、久保田町・高木町、八幡の周辺等の用途地域外での開発が進み、人口が増加する見込みですが、一方で用途地域内では、人口が減少する見込みのところが多く、新居浜市として市街化が薄く広がっていきます。
- 臨海部の人口減少が大きいところは、空き家も多く分布して、市民意向調査では、空き家・空き地の増加による居住環境の悪化に懸念を抱いている人が半数以上います。
- 公共施設にかかる費用は増加傾向にあります。



### 〔課題〕

#### ● 利便性の高い地域への人口誘導

- 人口増加している庄内町や久保田町、泉宮町の周辺は、利便性が高く都市機能のサービスを楽しむやすい環境です。今後、高齢者をはじめ誰もが自動車に過度に依存せず歩いて暮らせるようにするため、利便性が高く都市機能のサービスを楽しむやすい地域に誘導していくことが必要です。

#### ● メリハリのある計画的な人口の誘導

- 人口増加が見込まれるのは、久保田町・高木町・滝の宮町、八幡の周辺といった特定用途制限地域となっているところであり、一方で用途地域内は人口が減少とともに、人口密度も 40 人/ha 未滿となるところが多いことから、市街地が低密に拡大する恐れがあります。このような状況は、都市基盤の整備費や維持費、公共施設にかかる費用の増大などの都市経営コストの増大等につながることから、メリハリのある計画的な人口誘導を図ることが必要です。

#### ● 安心して暮らせる居住環境の維持

- 臨海部の人口減少は、空き家のさらなる増加を助長させ居住環境の悪化を招くことから、安心して暮らせる居住環境の創出が必要です。